

青少年いわて

2020年3月発行 No.83



令和元年11月2日(土)～4日(月)の2泊3日、県内各地から122名の中学生、活動をサポートする青年サポーター8名が集まり、令和元年度「いわて希望塾」を開催しました。

参加した塾生にとって、震災からの「復興」が進む沿岸地域で、実際に避難道を歩き被災状況や復興の様子を見聞きし、災害の教訓を学ぶ貴重な機会となりました。

また、「復興」について、事前に「地域の声」を集めてきたほか、調べたこと等を持ち寄ってグループワークを行い、最終日には岩手の「復興」や地域づくりにつ

いて「未来への宣言・メッセージ」として発表しました。

初めのうちは不安でいっぱいだった塾生も、市町村の枠を越えた交流活動、グループワーク等の活動をするなかですぐ打ち解け皆と仲良くなっていました。復興についての理解や様々な考え方・視点を、このいわて希望塾で学んだことは参加者にとって大切な思い出となり、良い経験となったのではないのでしょうか。

3日間で学んだことを学校、地域に伝え、積極的に岩手の復興や地域づくりを担うよう期待しています。

いわて希望塾……………P1・2
 ボランティア活動記録……………P2
 すぐに活かせる!こどもの心をつかむわくわくワークショップ…P3
 第2回青少年相談事例検討会……………P3
 社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー…………P4・5
 とどけ!いわてヒューマンメッセージ……………P5

「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール……………P6
 2019年度事業カレンダー……………P7
 花巻市青少年育成市民会議結成30周年……………P8
 告知……………P8

いわて希望塾

☆目的

震災からの「復興」が進む沿岸地域において、体験的活動や市町村の枠を越えた交流活動、「復興」についての学びを行うことにより、震災を風化させることなく、積極的に岩手の「復興」や地域づくりを担おうとする、心豊かで意欲に満ちた人材を育成することを目的とする。

☆期 日

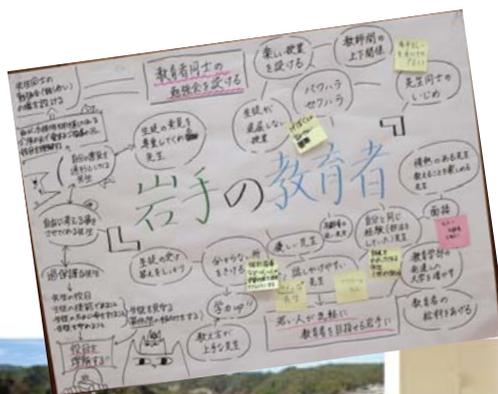
令和元年 11月2日(土)～4日(月) 2泊3日

☆会 場

- (1) 岩手県沿岸地域(宮古市・山田町・釜石市)
- (2) 岩手県立陸中海岸青少年の家

☆参加者

- (1) 塾 生 県内各地中学生 122名
- (2) 支援者 青年サポーター8名
(地域で活躍する青年)



主な内容・日程

1日目 11月2日(土)

- ◇ コース別学習(宮古市・山田町・釜石市)
- ◇ オリエンテーション
- ◇ アイスブレイキング
- ◇ コース別学習ふりかえり
- ◇ コース別学習発表
- ◇ サロン「未来へのヒント部屋」

2日目 11月3日(日)

- ◇ グループディスカッション①
- ◇ ふじポンミニトークショー・対話
- ◇ 全体写真撮影
- ◇ 講話「塾長メッセージ(知事講話)」
塾長: 岩手県知事 達増 拓也
- ◇ 塾長(知事)との対話
- ◇ グループディスカッション②
- ◇ ワークショップ 講師: 及川未希生氏
- ◇ サロン/作業グループタイム

3日目 11月4日(月)

- ◇ 未来への宣言(全体発表)
- ◇ ふりかえり

2019年度ボランティア活動記録



観武ヶ原まつり



いわて親子フェスティバル
企画会議



いわて親子フェスティバル
当日



いわて希望塾

2019.05～10(月1～2回) いわて親子フェスティバル in アイーナ【実行委員】

2019.05/05(日) ひょうたんランプ (acccommon)【運営補助】

2019.06/02(日) 自衛隊に学ぼう (acccommon)【運営補助】

2019.06/15(土)・10月14日(月) 復興バザー【ブース運営】

2019.06/15(土) 男女共同参画フェスティバル(岩手県男女共同参画センター)【運営補助】

2019.06/29(日) あそびのHIROBA (acccommon)【運営補助】

2019.09/01(日) 観武ヶ原まつり【ブース運営】

2019.10/13(日)～14(月)いわて親子フェスティバル in アイーナ【前日準備・当日運営補助】

2019.11/02(土)～04日(月) いわて希望塾【青年サポーター】

2019.12/07(土) ワークショップ(子育てネット)【リポーター】

2020.02/08(土) 子育てシンポジウム(子育てネット)【パネリスト】

延べ参加人数
566人

すぐに活かせる！こどもの心をつかむわくわくワークショップ

日時 令和2年1月13日（月）14:00～16:35 /会場 研修室 812（アイーナ 8F）

1月13日に、「子どもの心をつかむ」をテーマにワークショップを開催しました。参加者は10代から70代と幅広く、学生、幼稚園教諭、保育士を中心に、子どもとの活動に関心がある方々が多く集まりました。

第1部は、NHKのテレビ番組「つくってあそぼ」でわくわくさんを演じたくぼたまさとさんに工作のコツを教わりました。画用紙で作る動くヘビやくるくる回りながら落ちてくる紙コプター、ゴミ袋で作る大きな風船など、すぐに子どもと一緒に作れる工作を軽妙なトークと実践で教えてもらい、参加者は大満足でした。自分が子どもの時に見ていたわくわくさんに、はさみの使い方や紙の切り方など、子どもの目線に立っての細かなポイントを教えてもらったことに感動したという声もありました。

第2部は、盛岡大学短期大学部の及川未希生先生によるコミュニケーション講座として、アイスブレイキングを参加者全員で体験しました。初めは緊張していた知らない人同士が、段階を踏んだアイスブレイキングで、徐々に笑顔になり、最後は一つの大きな輪になる様子を感じ取れました。じゃんけんやジェスチャーなど、誰もがすぐにルールを理解できる方法で、子どもから年配の方まで、一緒に楽しみながらの交流ができました。参加者からは、子どもの心を開くには、少しずつ打ち解けながら距離を縮めていくことが大切だということがわかった等の感想がありました。

今回、初の試みのワークショップでありましたが、参加者からは楽しかったとの声が多く上がりました。工作もアイスブレイキングもすぐに実践できるものであるとともに、いろいろな年齢の方々と触れ合えたことが高評価につながったと思います。



くぼたまさと工作教室の様子



講師のくぼたまさと氏



コミュニケーション講座の様子

令和元年度第2回相談事例検討会

日時 令和2年1月20日（月）13:15～16:00 /会場 802 会議室（アイーナ 8F）

青少年相談事例検討会は、県内の相談関係機関の相談員等を対象とし、各機関における相談事例や模擬事例への対応についての検討・意見交換を行うこと等を通じて、相談担当者の課題解決能力や相談スキルの向上及び相談機関相互の連携促進とネットワークの構築を図ることを目的に実施しています。

本年度第2回の検討会では、不登校の子どもをもつ親からの電話相談を題材とする模擬事例をもとに、相談者や子どもが抱える課題とその背景及びその課題を解決するための支援方策について、検討・意見交換を行ったところです。

特に今回は初めてグループワーク形式により実施したところですが、各グループとも参加者それぞれが担当する分野からの様々な意見が出されて活発な検討・意見交換が行われ、課題の掘り下げがより多面的になるとともに、支援方策についても学校の関わりのほか関係機関と連携した対応について各グループから報告されるなど、課題の背景には様々な要因があり、多くの機関が共同して関わる重要性について認識を共有できたところです。

アンケート結果も全般的に評価が高く、本検討会の当初の目的を達成できたものと思われま



コーディネーターの山口浩岩手大学教授

第1～4回社会生活に困難を有

日程 第1回：令和元年8月24日（土）／第2回：9月7日（土）

「発達障害とのすてきな向きあい方」をテーマに、「発達障害」について、実際に子ども達に関わる活動に携わる人を中心に子ども達との向きあい方の参考となるよう、全4回の連続講義形式のセミナーを開催しました。

第1回から第3回は昨年度好評だった「ペアレントトレーニング」について取り上げ、第1回では社会福祉法人新生会からの川村みや子先生から「発達障害とペアレントトレーニング」について講話いただき、第2回及び第3回では「ペアレントトレーニングのポイント」についてNPO法人紫波さぶりの細川恵子氏、樋渡朗子氏から実践形式で学びました。

第4回は、東京学芸大学教職大学院教授の藤野博氏を講師に迎え、発達障害など発達に特性と課題のある子どもたちのコミュニケーションの問題に焦点をあて、健やかな育ちを支援する考え方と方法について、事例も紹介しながらお話しをしてい

第1～3回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー 発達障害とペアレントトレーニング (ペアレントトレーニングの概要とポイント)

「ペアレントトレーニング (ペアトレ)」とは・・・

子どもの問題行動 (不適切な行動) に焦点をあてるのではなく、親と子がよりよいコミュニケーションで生活ができるようになるために、子どもへの対応の仕方を学び、子育てを楽しむためのプログラム。今回は5つのセッションに分けてポイントを学びました。

セッション1「行動を3つに分ける」

- 行動①「好ましい行動」
- 行動②「好ましくない行動」
- 行動③「危険な行動・許しがたい行動」



第1回セミナーの様子



第2回セミナーの様子

セッション2「肯定的注目を与える - ほめる -」

肯定的注目の種類：ほめる・励ます・よろこぶ、おどろく・ジェスチャー・感謝する・

その行動に気づいてることを知らせる・興味や関心を示す・スキンシップ・次の行動に誘う

ほめ方のコツ：①25%ルール (してほしい行動を始めた時や指示に従おうとした時、途中までできたときにほめる)、②視線・高さ (子どもと同じ目線で子どもに近づく、子どもを呼ぶ)、③表情 (穏やかな表情)、④声の調子 (穏やかで温かみのある声、明るい声)、⑤言葉 (簡潔明瞭な言葉、皮肉・批判は避ける)、⑥行動をほめる (子どもの行動をほめる)、⑦効果的にほめる (性格や感じ方、年齢に合わせたほめ方)

セッション3・4「好ましくない行動を減らす - 「無視」と「ほめる」の組み合わせ -」

「無視」=注目を取り去って、好ましい行動が出てくるのを待つこと

無視のポイント：①タイミング (好ましくない行動が出たらすぐに無視始める)、

- ②視線、身体 (子どもに視線・体を向けない)、③メッセージ (普通で無関心な表情と態度)④ほめる準備をする (少しでも好ましい行動や別の行動が見られたら、すかさずほめる)

「無視」と「ほめる」を組み合わせる=“何を無視しているのか”、“何を待っているのか”を明確にすることが大切。

セッション5「効果的な指示の出し方」

「指示」=その時に子どもがやるべき行動を伝えるコミュニケーションの手段

効果的な「指示」の出し方：

- ①子どもの注意を引く、②視線を合わせる、③指示は短く・具体的に、④落ち着いて・口調はきっぱりと言い切る、⑤どんな小さなことでも子どもが従おうとしたらすぐにほめる

合言葉は「CCQ」=「Calm (あなた自身が穏やかに)」・「Close (子どもにもう少し近づいて)」・

「Quiet (声のトーンを抑えて静かに)」

指示を「繰り返す」：子どもは1回で指示に従うとは限らない。CCQを意識しながら指示を繰り返すことが必要。

「予告」する：「予告」=他のしなければいけないことを子どもに知らせるための「声明」。

- ・予告することで子どもは行動を切り替える準備ができる。
- ・今の行動を許可すること。時間や回数きたら、やるべきことをするように声をかける。
- ・子どもが従ったり従おうとしたらほめる。



セミナー配布資料

する子ども・若者支援セミナー

／第3回：9月21日（土）／第4回：令和2年2月18日（火）

心に、現場での

みちのく療育園
「トレーニング」

社会性とコミュ
ニケーションを
学びました。



第1回セミナー概要

会場：501会議室
（アイーナ5階）
講師：川村みや子氏
（社会福祉法人新生会みちのく療育園）
参加者：63人



第2・3回セミナー概要

会場：501会議室
（アイーナ5階）
講師：細川恵子氏・樋渡朗子氏
（NPO法人紫波さぶり）
参加者：44人（第2回）/42人（第3回）



第4回セミナー概要

会場：研修室812
（アイーナ8階）
講師：藤野博氏
（東京学芸大学教職大学院）
参加者：110人

第4回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー 発達に特性のある子どもたちの理解と支援（講演要旨）

発達障害は通常低年齢期に発現する。児童生徒のおよそ6.5%が発達障害により学習面や行動面に困難を抱えており、その多くが「限局性学習症（SLD）＝学習障害（LD）」、「注意欠如多動症（ADHD）」、「自閉スペクトラム症（ASD）」である。

発達障害は勉強や成長（行動）で困難や失敗が生じ、ネガティブな自己イメージが形成されると「二次障害」が発現し、学校生活や社会生活の適応を妨げることとなる。

発達障害の児童生徒が将来的に社会参加できるように「ソーシャルスキル（社会的技能）」、「自尊感情・自己効力感」、「レジリエンス（立ち直りの力）」の3つの支えを育てることが重要である。

これらの3つの支えを育てるために「ソーシャルサポート」の概念を持って支援することが必要である。「ソーシャルサポート」は、ケアされ愛されている、評価され価値が認められている、相互義務のネットワークに属している、といった個人の信念で、「感情的サポート」、「道具的サポート」、「情報的サポート」、「評価的サポート」の4つのタイプがある。それぞれのサポートを行って、成功体験や自尊感情、他者からの承認等を得て3つの支えの向上を目指す。

現在、社会とのコミュニケーションの向上を図った余暇活動など、発達障害を支援するための活動が行われている。子ども同士でテーブルを囲んで趣味について話し合ったり、RPGゲームのようにキャラクターになりきって行うテーブルゲームがあったりする。

また、学校では発達障害の児童生徒が自ら自分の説明書を作成して同級生や教職員への理解を求めたりもしている。

発達に特性のある子どもが社会との「つながり」をもつためには支援者の役割が重要で、地域の居場所づくりや他者との交流などネットワークの構築と維持が支援者の役割である。



第4回セミナーの様子



第4回セミナー講師の藤野博氏

とどけ！いわてヒューマンメッセージ

日時 令和元年11月10日（日）13:40～16:10／会場 小田島組☆ほ～る（アイーナ7F）

今年度の地域交流セミナーは、盛岡法務局との共催イベントとして開催いたしました。

中学生人権作文コンテストの表彰式のあと、「童謡・唱歌に見る子育て」と題して、音楽家の工藤和子さんによるミニコンサートが開催されました。その中で、上位入賞者はピアノの伴奏が流れる中、作文を朗読しました。会場では、感動して涙する人も見られました。

また、岩手女子高校の皆さんが、ステージいっぱい筆を走らせた書道パフォーマンスも、たいへん迫力のある素晴らしいものでした。



岩手女子高書道部の作品

2019年度「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール

『2019年度「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール』の入賞者表彰式が11月17日（日）に北上市の北上市民交流プラザ展示室で開催されました。

今年度は県内の小・中学校、高校から79点（児童の部49点・生徒の部30点）の作品の応募があり、9月9日（月）に開催された選考委員会にて、最優秀賞2点（児童の部1点・生徒の部1点）、優秀賞3点（児童の部2点・生徒の部1点）、優良賞7点（児童の部5点・生徒の部2点）が選出されました。

優秀作品を含めた全ての作品は10月7日（月）から20日（日）まで盛岡市のいわて県民情報交流センター（アイーナ）で、11月7日（木）から17日（日）まで北上市のさくら野百貨店連絡通路（りぼん橋）にて展示を行いました。

県内の様々な人に作品を観ていただき、「いわて家庭の日」を広く周知することができました。



表彰式に出席した入賞者及び平井県民会議長

入賞作品一覧



【児童の部】優秀賞
家族みんなで見たアサガオ
北上市立江釣子小学校4年
伊藤 良宙



【児童の部】最優秀賞
みんなでわいわいおいしい朝ごはん
奥州市立常盤小学校5年
菅原 将義



【生徒の部】最優秀賞
小さな家庭
北上市立北上中学校3年
鬼柳 莉緒



【生徒の部】優秀賞
家族の誇り
いわて家庭の日
久慈市立宇部中学校2年
宇部 優海



【児童の部】優秀賞
家族で農業
北上市立江釣子小学校4年
高橋 美奈



【児童の部】優良賞
楽しかったランドセルえらび
北上市立飯豊小学校3年
齊藤 結花



【児童の部】優良賞
楽しかったジェットコースター
北上市立飯豊小学校3年
高橋 寧々



【生徒の部】優良賞
あたたかい家族
奥州市立江刺第一中学校1年
及川 朋花



【児童の部】優良賞
ずっと一緒だよ
北上市立和賀東小学校5年
浅水 穂乃香



【児童の部】優良賞
家族との思い出
滝沢市立姥屋敷小学校6年
石倉 穂夏



【児童の部】優良賞
家族でキャンプ
軽米町立軽米小学校6年
蒲生 朱里



【生徒の部】優良賞
わたしと家族の原風景
岩手県立住田高等学校2年
新沼 由唯

2019年度 岩手県青少年育成県民会議・青少年活動交流センター イベント・事業カレンダー

2019
06/03(月)



青少年育成セミナー

青少年関係団体が意見・情報交換を行いました。その後、子どもの虐待について、講演会を開催しました。

2019
06/12(水)



通常総会・県民会議表彰

通常総会の席上で、県内の各地域で青少年の健全育成の優れた活動を展開している方々に対する表彰を行いました。

2019
06/15(土)



復興バザー

震災復興や被災地支援を目的としたバザーにボランティアと一緒に参加し、雑貨等の販売をしました。

2019
07/11(木)



青少年を非行・被害から守る県民大会

青少年の非行・被害防止運動の推進を目的とした県民大会を開催しました。

2019
07/20(土)



情報メディア対応サポーター育成セミナー

青少年のネット・スマホ利用についてアドバイスが行うことができるようなサポーターの育成をしました。

2019
08/02(金)



第1回相談事例検討会

県内の青少年を対象とした相談事業関係者を対象に、子どもの虐待に関する研修会を開催しました。

2019
08/24(土)



第1回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

発達障害の子どもの成長に効果的だとされる「ペアレントトレーニング」について講演会を開催しました。

2019
09/01(日)



観武ヶ原まつり

ボランティアと一緒にシールやけん玉の工作コーナーを出店し、多くの子どもに体験してもらいました。

2019
09/07(土)
21(土)



第2・3回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

「ペアレントトレーニング」のポイントについて学ぶ、実践形式の体験講座を開催しました。

2019
09/18(水)



わたしの主張岩手県大会

県内の地区大会から選出された代表者18名が未来に向けての夢や希望など、それぞれの思いを発表しました。

2019
10/14(月)



いわて親子フェスティバル in アイーナ

「アイーナで一日中遊ぼう」をテーマに親子で楽しめるフェスティバルをボランティアと一緒に企画し開催しました。

2019
11/02(土)
~04(月)



いわて希望塾

県内から集まった中学生が2泊3日の宿泊研修を行い、震災復興や地域づくりについてまとめ、発表をしました。

2019
11/10(日)



とどけ! いわてヒューマンメッセージ

盛岡地方法務局と共催で開催し、作文コンテストの表彰や、音楽コンサート、書道パフォーマンス等を行いました。

2019
11/11(月)
20(水)
22(金)
27(水)



情報メディア対応能力養成講座

青少年のネット・スマホ利用について理解を深めるために、県内4カ所で講座を開催しました。

2019
11/17(日)



「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール入賞者表彰式

「いわて家庭の日」の普及啓発を目的として開催した絵画コンクールの入賞者に対する表彰を行いました。

2020
01/13(月)



すぐに活かせる! 子どもの心をつかむ わくわくワークショプ

教職関係者や青少年育成関係者等を対象とした工作教室やコミュニケーション講座を開催しました。

2020
01/20(月)



第2回相談事例検討会

青少年の相談事例について、専門家をコーディネーターに招き、研修会を開催しました。

2020
02/18(火)



第4回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

発達障害への理解と支援について専門家の先生を講師に招き、講演会を開催しました。

通年実施事業

- ▶ ボランティア活動の促進
- ▶ 青少年育成地域活動支援
- ▶ 青少年育成講師派遣
- ▶ 情報メディア「出前」講座
- ▶ 青少年なやみ相談室
- ▶ 「いわて家庭の日」普及拡大
- ▶ 情報発信 (広報紙 / HP / SNS)



- ▷ 広報紙「青少年いわて」(11月 / 3月発行)
- ▷ 「いわて家庭の日」カレンダー (月1回発行)
- ▷ アイーナインフォメーション (月1回発行)



花巻市青少年育成市民会議 結成 30 周年

次世代を担う青少年が心豊かに成長することを願いながら、設立された花巻市青少年育成市民会議は、地域のみなさんや各種団体、花巻市、そして、岩手県青少年育成県民会議のご支援をいただきながら 30 年間活動を続け、去る 12 月 8 日（日）には、記念式典を開催することができましたことに、心より感謝申し上げます。

高校生や各種団体による朝の駅前でのあいさつ運動や、幼稚園や保育園へ出向いて、読み聞かせ劇などを披露する活動をしております。

夏には市内の全ての小学校の代表を集め、地元の高校生がキャンプを実施し、全く知らない学校から集まった子ども達をまとめ、すばらしい思い出を作ってくれています。

30 周年を迎え、これまでの道のりを振り返り、みんなで活動してきたことに間違いのなかったことを確認することができました。

そして、青少年の健全育成を阻害するものが氾濫してきている今だからこそ、より一層の地道な活動をもって、子ども達の心をまっすぐに育てるお手伝いを続けたいと考えております。
(寄稿：花巻市青少年育成市民会議事務局)



挨拶をする市川市民会議会長



朝のあいさつ運動の様子

正会員・協賛企業募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

1. 会 員 会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料をお送りします。
2. 協賛企業 県民会議HPバナー広告、広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。

3. 会 費

個人会員	正会員	3 千円 / 年
	賛助会員	12 千円 / 一口
団体(法人)会員	正会員	6 千円 / 年
	賛助会員	25 千円 / 一口

4. その他 お問合せ・お申込みについては、県民会議 (019-681-9077) までご連絡ください。



相談時間 (電話・面談)
9:00~16:00
(月・木のみ 9:00~20:00)

メール受付時間 (24 時間)

✉ nayami@aiina.jp

QRコード



情報
発信中



@ya_center



@yacaiina



@vzi4606t



センター HP : <http://www.aiina.jp/seishounen/index.html>
県民会議 HP : <http://www.ipayd.server-shared.com/>

毎月第3日曜日は「いわて家庭の日」



岩手県青少年育成県民会議では、
青少年を守り育てる運動として
『いわて家庭の日』
を主唱しています。

推進協力 岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部

青少年育成地域活動支援事業助成

対象団体 青少年育成市町村民会議、青少年育成団体、青少年団体・グループ、PTA その他の団体

対象事業 青少年の健全育成を目的とする体験・交流・実践活動や、家庭や地域における青少年の育成をテーマとする研修会・講演会等の活動で、10人以上の参加者により開催されるもの。

募集期間 **2020年4月1日(水)～5月31日(日)**

助成金額 **1件あたり5万円**を上限とし、予算の範囲内で交付します。

その他 申請方法等、詳細についてはホームページで随時お知らせしていきます。